



2016年度「連帯社会」連続講座

主催：公益財団法人 日本労働文化財団
連帯社会研究交流センター

参加費無料
要申込

「連帯社会研究交流センター」は、連合、日本労働文化財団、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」(通称：連合大学院)の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

昨年度に引き続き、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。第1回は、井手英策氏をお招きして、「分断社会を終わらせる」というテーマでご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、参加申し込み方法につきましては、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行なう方法をとらせていただきますので、「イベント・シンポジウム」<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

第1回：分断社会を終わらせる

日時 2016年10月1日(土) 14:30~16:30 (14:00開場)

場所 法政大学大学院棟 201教室

講師：井手 英策 氏
慶応義塾大学教授



井手英策(いでいさく)氏のプロフィール

1972年岡山県久留米市生まれ。東京大学経済学部卒業。同大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。日本銀行金融研究所、東北学院大学、横浜国立大学を経て、慶応義塾大学経済学部教授。専門は財政社会学。著書に『Deficits and Debt in Industrialized Democracies』(Routledge)『経済の時代の終焉』『日本財政 転換の指針』(岩波書店)『分断社会を終わらせる：「だれもが受益者」という財政戦略』(古市将人、宮崎雅人との共著)(筑摩選書)など多数。

プログラム

来聴歓迎

14:30 ~ 16:00 講演
16:00 ~ 16:30 質疑応答

~お問い合わせ~
連帯社会研究交流センター
(ReCSS)
URL: <http://recss.jp>
e-mail: info@recss.jp

東京メトロ南北線/有楽町線「市谷駅」
5番出口下車徒歩3分

【会場】法政大学大学院棟案内図

